

2026年6月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2025年10月31日

上場会社名 アクモス株式会社
コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5539-8800

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績 (2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,335	△1.2	△30	—	△32	—	△39	—
2025年6月期第1四半期	1,352	9.3	2	△96.4	4	△93.6	△9	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 △40百万円 (—%) 2025年6月期第1四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△3.92	—
2025年6月期第1四半期	△0.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	4,927	3,373	62.4
2025年6月期	5,378	3,666	62.5

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 3,075百万円 2025年6月期 3,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年6月期	—				
2026年6月期 (予想)		0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 6月期の連結業績予想 (2025年 7月 1日～2026年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	9.0	700	19.9	700	19.7	450	16.6	45.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	10,215,400 株	2025年6月期	10,215,400 株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	267,343 株	2025年6月期	267,343 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	9,948,057 株	2025年6月期1Q	9,860,826 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日、以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、日米間の関税交渉の合意や堅調な企業の設備投資により緩やかな回復が見られるものの、米国の関税政策による影響の顕在化懸念や海外需要の減速、国内の人手不足感の強まりにより先行き不透明な状況が続いております。当社グループの事業を取り巻く環境は、デジタル産業基盤強化のための生成AIやDX推進のためのデジタル人財の育成・確保が課題となっております。

当社グループは、積極的な人財への投資により事業の成長に欠かせない優秀な技術者の確保と育成に取り組んでおります。その結果、当四半期末のグループ全体の従業員数は前年同四半期末に対し40名増加し、493名となっております。また、当社ではエンジニア職の新卒採用社員に対する最長1年間の研修期間を設けておりますが、採用後の収益貢献時期を適正化するため、一斉でのOJT配属を見直し、新入社員の習熟度等研修履修の効果を測定し、各事業分野の要員計画に応じたOJT実施部門への配属を計画的に進めております。

2025年8月5日に中期経営計画の最終年度を1年間延長する発表をおこなっておりますが、中期経営計画2028(2024/07-2028/06)においては最終年度の連結売上高100億円到達を目標とし、収益性と成長性を軸に事業ポートフォリオのポジショニングに応じた事業戦略を推進しております。成長投資領域(Growth)では、消防防災事業及びネットワーク事業に対し集中して投資しており、前期より引き続き他領域からの異動や採用等により人員の確保に注力しており、消防防災事業ではアライアンスを強化し入札への参画を進めております。

当四半期は、ITインフラ事業、ITサービス事業での対前年同期比での売上の減少、人財への先行投資等による費用の増加の影響から、売上高は1,335百万円(前年同四半期は1,352百万円、前年同四半期比1.2%減)、営業損失30百万円(前年同四半期は営業利益2百万円)、経常損失32百万円(前年同四半期は経常利益4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失9百万円)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(ITソリューション)

当四半期では新たな取引先の開拓や官公庁への提案活動や入札への積極的な参加をおこないました。前期から取引を開始したAIソリューションベンダーとの取引も拡大しております。GISソリューションでは国勢調査関連案件を中心に堅調に推移いたしました。製造業のお客様を中心にIT投資への慎重姿勢が強く、計画の見直しや要員調整の要請に対し人員の削減や他の案件への異動により対応いたしました。消防防災ソリューションでは、全国の消防通信指令システムの入札に参加し、受注、作業進捗ともに順調に推移いたしました。当四半期の売上高は822百万円(前年同四半期は802百万円、前年同四半期比2.5%増)、営業損失16百万円(前年同四半期は営業損失25百万円)となりました。受注残高は消防通信指令システムのほか、2025年10月に実施される令和7年国勢調査関連の統計システムなど、前年同四半期末に対し32.2%増加し1,427百万円となっております。

(ITインフラ)

官公庁を中心に大型案件も含め入札案件を堅調に受注しており、受注済み構築案件の進捗および保守運用も順調に進んでおります。一部、第1四半期の受注で計画していた大型案件が第2四半期に延伸しております。当四半期では大型構築案件の納品がなかったことから売上高は220百万円(前年同四半期は231百万円、前年同四半期比4.9%減)、営業利益は7百万円(前年同四半期は20百万円、前年同四半期比63.9%減)となりました。受注残高は前年同四半期末に対し8.7%減の637百万円となっております。

(ITサービス)

第三者保守サービスでは、保守契約が新規契約獲得によりほぼ見込みどおりの進捗だったものの、構築や販売修理の不振が影響し当四半期の売上は減少いたしました。病院情報システム維持管理では新規のお客様の獲得や運用人員の増加により運用業務が堅調に推移しておりますが、新規、増員のための一時的な引き継ぎ費用の発生がありました。BPOサービスでは、高収益が期待できる入札案件を落札できておりますが、第3四半期の売上予定であり、また紙媒体でのストレスチェック実施数が見込みを下回りました。従来入札の参加要件に挙げられることの多い「専門統計調査士」資格の合格者がでたことから今後参加制限のあった入札への参加が可能となり、今後の業務領域拡大と収益性の向上が期待されます。当四半期の売上高は302百万円(前年同四半期は332百万円、前年同四半期比8.8%減)、営業損失7百万円(前年同四半期は営業利益21百万円)となりました。受注残高は前年同四半期末に対し1.8%増の501百万円となっております。

※上記において前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)は、「前年同四半期」と表記

しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当四半期末の総資産は前連結会計年度末から450百万円減少し4,927百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少646百万円のうち、仕掛品の増加236百万円があったことによるものです。

②負債

当四半期末の負債は前連結会計年度末から157百万円減少し1,554百万円となりました。これは主に、前受金の増加61百万円、賞与引当金の増加112百万円のうち、未払費用の減少217百万円、未払法人税等の減少104百万円があったことによるものです。

③純資産

当四半期末の純資産は前連結会計年度末から293百万円減少し3,373百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円、配当金の支払い248百万円の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年8月5日付の「2025年6月期決算短信」にて公表いたしました2026年6月期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、配当に関しては、2025年8月5日付の「累進配当期間の変更及び剰余金の配当に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、中期経営計画2028の期間（2024年7月1日～2028年6月30日）においては、累進配当を導入し、前年実績の水準に対して維持又は増配することを基本方針としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,903,929	2,257,644
受取手形及び売掛金	1,018,300	963,666
商品	349,729	361,811
仕掛品	195,896	432,876
その他	119,832	123,482
貸倒引当金	△413	△413
流動資産合計	4,587,275	4,139,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	360,685	360,685
減価償却累計額	△195,697	△198,614
建物及び構築物（純額）	164,987	162,071
工具、器具及び備品	235,388	238,251
減価償却累計額	△188,243	△189,077
工具、器具及び備品（純額）	47,145	49,173
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	280,969	280,081
無形固定資産		
のれん	181,362	176,097
ソフトウェア	36,234	36,391
その他	4,134	5,155
無形固定資産合計	221,732	217,643
投資その他の資産		
投資有価証券	19,484	19,857
繰延税金資産	111,441	112,893
その他	157,721	158,086
投資その他の資産合計	288,647	290,837
固定資産合計	791,348	788,562
資産合計	5,378,624	4,927,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,374	319,306
短期借入金	75,000	75,000
1年内返済予定の長期借入金	73,994	71,904
未払金	239,374	218,373
未払費用	410,576	193,465
未払法人税等	118,764	13,932
前受金	131,249	192,385
賞与引当金	31,737	144,530
アフターコスト引当金	5,850	5,850
その他	21,147	45,379
流動負債合計	1,421,068	1,280,127
固定負債		
長期借入金	251,700	234,800
アフターコスト引当金	5,850	5,850
その他	33,033	33,308
固定負債合計	290,583	273,958
負債合計	1,711,652	1,554,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,258,509	1,258,509
利益剰余金	1,436,564	1,148,839
自己株式	△27,668	△27,668
株主資本合計	3,360,655	3,072,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,583	2,878
その他の包括利益累計額合計	2,583	2,878
非支配株主持分	303,732	297,737
純資産合計	3,666,971	3,373,546
負債純資産合計	5,378,624	4,927,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,352,703	1,335,948
売上原価	913,841	914,658
売上総利益	438,861	421,289
販売費及び一般管理費	436,529	451,885
営業利益又は営業損失(△)	2,331	△30,595
営業外収益		
受取利息及び配当金	223	1,641
為替差益	1,688	—
その他	1,217	156
営業外収益合計	3,129	1,798
営業外費用		
支払利息	1,353	1,044
雑損失	0	2,273
その他	4	749
営業外費用合計	1,357	4,066
経常利益又は経常損失(△)	4,104	△32,863
特別損失		
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,104	△32,863
法人税、住民税及び事業税	14,812	9,269
法人税等調整額	△1,037	△1,598
法人税等合計	13,774	7,670
四半期純損失(△)	△9,670	△40,534
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△317	△1,510
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,352	△39,023

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△9,670	△40,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	295
その他の包括利益合計	130	295
四半期包括利益	△9,540	△40,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,222	△38,728
非支配株主に係る四半期包括利益	△317	△1,510

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	I Tソリューション事業	I Tインフラ事業	I Tサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	788,912	231,942	331,848	1,352,703	—	1,352,703
外部顧客への売上高	788,912	231,942	331,848	1,352,703	—	1,352,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,145	—	182	13,327	△13,327	—
計	802,057	231,942	332,030	1,366,030	△13,327	1,352,703
セグメント利益又は損失(△)	△25,596	20,968	21,201	16,574	△14,242	2,331

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,242千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△14,996千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	I Tソリューション事業	I Tインフラ事業	I Tサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	812,787	220,633	302,528	1,335,948	—	1,335,948
外部顧客への売上高	812,787	220,633	302,528	1,335,948	—	1,335,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,218	—	216	9,434	△9,434	—
計	822,006	220,633	302,744	1,345,383	△9,434	1,335,948
セグメント利益又は損失(△)	△16,760	7,579	△7,806	△16,988	△13,607	△30,595

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,607千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△14,827千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	11,763千円	11,750千円
のれんの償却額	5,265千円	5,265千円